

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



## 健やかな成長と健康を願う「ひなまつり」を開催

大木戸歴史むらづくりの会×あつかし歴史館「ひなまつり」が2月25日、あつかし歴史館で開催され、大木戸地区の皆さんをはじめ多数の方に来場いただきました。

ひな人形が飾られた会場では、あつかし大正琴愛好会の皆さんによる大正琴の演奏でイベントがスタートしました。「春の小川」や「うれしいひなまつり」など、季節に合わせた曲が披露され、参加者は演奏に合わせて歌を歌いながら華やかな大正琴の音色を楽しみました。



また、紙コップでのひな人形作りや凧作りワークショップ、大木戸婦人会の皆さんによる「ちらし寿司」のふるまい、国見の民話かるた大会も行われました。

特にかかるた大会は、真剣なまなざしで絵札を取り合う子どもたちの姿が印象的で、楽しみながらも、国見に伝わる民話に触れる貴重な機会となりました。

参加者は、少し早い春の訪れを感じながら、桃の節句をお祝いしました。



▲白熱した国見の民話かるた大会

## 歴史まちインフォメーション

令和5年度もあつかし歴史館では、歴史講座を開講します。ぜひご参加ください。

### 令和5年度歴史講座スケジュール

- 第1回 4月26・27日 「徳江観音寺と観音信仰」
- 第2回 5月24・25日 「八代伊達宗遠と藤原宗遠」
- 第3回 6月28・29日 「伊達政宗登場 武士と足軽」
- 第4回 7月26・27日 「相模武士団の陸奥・出羽国移住」
- 第5回 8月23・24日 「在郷・藤田村の変遷（奥州藤田宿）」
- 第6回 9月27・28日 「伝説に生きる塚野目城」
- 第7回 10月25・26日 「石那坂の戦いと信夫佐藤氏」
- 第8回 11月29・30日 「伊達郡の城館」
- 第9回 12月20・21日 「中世佐野郷・地頭佐野氏の歴史」
- 第10回 1月24・25日 「宗門人別長と小坂宿」
- 第11回 2月21・22日 「伊達家臣西大枝氏の歴史」
- 第12回 3月27・28日 「国見・桑折両町史から見た阿武隈川流域の地名考」



時間は  
午前10時～午前11時30分  
午後1時30分～午後3時です。  
内容等について変更となる場合があります。  
※参加には申し込みが必要です。

申込先：あつかし歴史館 ☎ 585-4520



三好 菜月  
(Natsuki Miyoshi)

— Activity Report —

Vol. 31

## 地域おこし協力隊活動日記

### 子どもたちの未来を地域全体で考える

こんにちは、地域おこし協力隊の三好菜月です。  
今回は、放課後塾ハルの取り組みについて紹介します。

現在、私たちは通塾している家庭を対象に、保護者面談と三者面談を実施しています。小学5年生から中学3年生まで、100人近くの子供たちが通塾していますが、各家庭で1時間程度、貴重な時間をいただき、腰を据えてゆっくりお話をしています。

私たちはこの面談を、子どもたちの普段の様子をお伝えすると同時に、彼ら彼女らにとって最適な関わり方を、保護者の皆さまと一緒に考えていく機会として捉えています。家庭での子どもたちの様子を伺いながら、彼ら彼女らの将来を考えたときに、私たちとしてどういった関わり方ができるのかを伝えています。



子どもたちをいつもそばで見守っている保護者の皆さまだからこそ、このようなコミュニケーションを大切にしながら、彼ら彼女らを中心に置いたかたちで連携体制を築いていきたいと考えています。

放課後塾ハルは、今年で3年目を迎えます。保護者、学校、そして地域とともに子どもたちの未来をつくる場所として、これからも活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 0歳から15歳のつながる学園

### 策定委員会で中間報告まとまる

### くみに学園構想

くみに学園基本構想（案）について、2月16日までパブリックコメントを行いました。

パブリックコメントでいただいた意見は下図のとおりです。

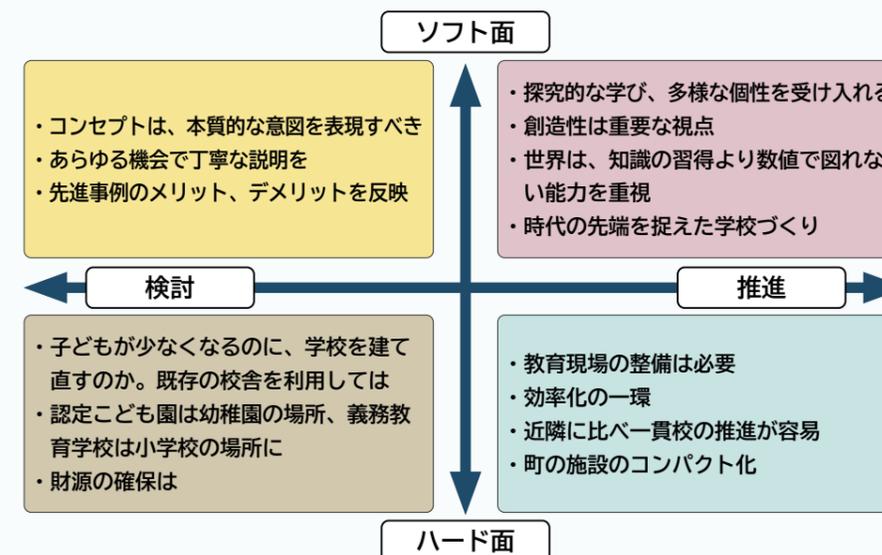
基本構想策定委員会では、パブリックコメントを受けて3点について確認し、検討を継続することとしました。

改めて、説明や意見交換を続けていきます。

①分かりやすい理念の表現  
(ブラッシュアップ)

②伝え方の再考  
(写真・概要版など)

③子どもたちの声を  
(中学生の声など)



☎ 学校教育課 ☎ 585-2892



▲中学生の保育実習  
このような中学生と幼稚園児の交流も簡単に



▲パブリックコメントの詳しい内容は、ホームページをご覧ください。